

登園許可証明書

昭和幼稚園・なかよし保育園

幼稚園・保育園は乳幼児が集団で長時間生活を共にする場です。感染症の集団流行予防の為、適切な家庭での療養をとった後、医師による登園許可書の提出をお願い致します。

感染力のある期間に配慮し、お子さんが集団生活が可能な回復状態になってからの登園をお願い致します。

園児氏名		病名	
------	--	----	--

____年 ____月 ____日から症状も回復し、集団生活に支障がない状態になったので、登園許可と判断します。

____年 ____月 ____日

医療機関名 _____

医師名 _____

印またはサイン _____

医師が記入した登園許可書が必要な感染症

感染症名	感染しやすい期間	登園の目安
麻疹（はしか）	発症1日前～発疹出現後の4日後まで	解熱後3日を経過してから
インフルエンザ	発症前24時間～発病後3日程度が最も感染力が強い	発症した後5日を経過し、かつ解熱した後3日を経過するまで
風疹	発疹出現の前7日～後7日間程度	発疹がすべて消失してから
水痘（水ぼうそう）	発疹出現1～2日前からかさぶた形成まで	すべての発疹がかさぶたになってから
流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	発症3日前～耳下腺腫脹後4日	耳下腺、顎下腺、舌下腺の腫れが発現してから5日を経過するまで、かつ全身状態が良好になるまで
咽頭結膜炎（プール熱）	発熱、充血など症状が出現した数日間	主な症状が消え2日経過してから
流行性角結膜炎	充血、めやに等症状が出現した数日間	感染力が非常に強い為、結膜炎の症状が消失してから
百日咳	抗菌薬を服用しない場合、咳出現後3週間を経過するまで	特有の咳が消失するまで又は5日間の適正な抗菌性物質製剤による治療が終了するまで
腸管出血性大腸菌（O157、26、111等）		症状が治まり、抗菌薬による治療が終了し、48時間あけて連続2回の細菌検査（検便）でいずれも菌陰性が確認されてから
急性出血性角膜炎	ウィルスが呼吸器から1～2週間、便から数週間～数か月排出	医師により感染の恐れがないと認めるまで
結核		医師により感染の恐れがないと認めるまで
髄膜炎菌性髄膜炎		医師により感染の恐れがないと認めるまで

※インフルエンザは厚生労働省に確認した表現で記載しています。

(2019年1月配布)